

# 助産師レター

新年度が始まりました！！今年度は待ちに待った **助産師認証制度** がスタートします！

滋賀県ではラダーⅢ取得は約70名と予測されています！4月2日に日本助産評価機構より申請のためのハンドブックが来ました。

8月までにポートフォリオを整え、皆さんで申請し承認を得られるよう助産師職能委員会も頑張らしましょう！！

## ＊ ＊平成26年度第2回全国助産師職能委員長会報告＊ ＊

平成27年3月6日(金) 青山ダイヤモンドホールにて開催

福井トシ子理事より、平成26年度は16県が委員長交代となったが、引き継ぎができ、各都道府県委員長活躍のねぎらいの挨拶がありました。また、重点政策・重点事業「助産実践能力強化とその体制整備」にて助産師キャリアパス/助産実践能力習熟段階の普及・啓発を進め、いよいよ平成27年度レベルⅢ認証が開始されることを受け、重点事業に「認証制度の普及」をあげ、①助産実践能力習熟段階クリニカルラダーレベルⅢ認証制度の確立と認証申請のための支援②助産師出向システムの推進 に取り組むとされています。

そして、今年度、新たに「少子社会に対する助産ケア提供体制の整備」として、地域母子保健に関する実態調査や母子保健推進に関する事業に取り組む方針を述べられました。地域社会で母子を取り巻く環境に何が起きているのか実態を把握し、助産師として何をすべきかを一緒に考えましょう。

滋賀県も共に活動し、より住みよい母子環境を整えていきますので、よろしくをお願いします。(委員長：梅本範子)

## 平成26年度助産師職能集会・助産師職能研修会

平成27年1月10日(土)

滋賀県看護研修センターにて開催

今年度は出向モデル事業の報告とグループワークを行いました。

出向元である津市民病院：初田 聡美看護科長と津川千佳助産師の発表から、助産実践能力の向上ができ、また自分の勤める病院を客観視でき、看護の幅が広まったことを発表されました。出向先である野村病院：寺田 淳子看護部長と今出 良恵助産師からは、受け入れをするために、環境整備を重視されたことや、お互いのモチベーションの向上に繋がったと報告されました。

午後には、滋賀医科大学医学部地域周産期医療学講座 高橋 健太郎先生を講師にお招きし、「医療安全の立場から、看護記録のあり方」について研修をおこないました。

産科医療補償制度から記録の重要性を講義していただき、助産録、看護記録は事実を書く、根拠のない予見はダメ、誤記はダメ、時刻の間違いは記録の信頼性に欠ける、記載のない事実は存在しない誤字・脱字は信頼性を失うことを重要視されていました。受講者の感想からも看護行為、報告した内容、時間の記載、正常時の記載も重要性であり、日々の記録に活用していきたいとの結果を得ました。

(委員：岡本美佐江)



編集後記：助産師レターのレイアウト刷新化してみました。

これからも盛りだくさん、情報提供します。(委員：西村さつき)

## ゆりかごタクシー講習会

平成27年1月28日 滋賀県トラック会館

昨年9月の湖東地区に引き続き、今回で今年度4回目となるタクシー乗務員・オペレータ向け実務研修が開催され、講義と実際のタクシーを使った演習を助産師職能委員会が担当しました。午前・午後の2回で計56名の運転手・オペレータの方が参加され、妊婦さんを乗せる時の注意点や緊急時の対応について、活発に質問されながら学ばれました。今後は年1回の新規受講者向け研修が行われる予定です。

いよいよ4月より全県下でゆりかごタクシーの運行が開始されます。

リーフレットのご希望やお問い合わせは

滋賀県タクシー協会まで ☎077-585-8261

(委員：中村美由紀)



## 第11回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会のお知らせ

2015年7月20日(月)～22日(水)、パシフィコ横浜にて

第11回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会が行われます。日本では助産師の偏在や、少子化による分娩施設の現象など、出産をとりまく環境の悪化が問題となっていますが、アジアの地域ではまだまだ安全な出産が保障されていない地域もあり助産師の力が必要とされています。この機会にアジア諸国の出産にかかわる現状や課題をぜひとも知っていただき、国内外の助産にかかわる方々との交流を深めていただきたいと思います。

皆さん、ぜひ参加してください。(委員：前川孝枝)